

第 73 回例会（第六回福井いきいき会新年会）

実施期日：平成 31 年 1 月 31 日（木）

会場：アオッサ 3 階：ウエルアオッサ宴会場

参加者：84 名

会費：4,000 円

第六回新年会のプログラム

10：00 受付

10：30 記念撮影

10：45 前年度の活動報告：記録と映像で綴る 2018 年の行事

11：10 新年会 開会宣言

祝賀の出し物：祝賀揮毫「謹賀新年」 謡曲「羽衣」

11：30 会長挨拶

11：40 サークル活動実績披露

場内展示による作品披露

演技披露

12：20 開宴 乾杯

… 飲食・懇談 …

13：00 宴会の余興 特技披露・カラオケ（前半）

… 休 憩 …

14：00 特技披露・カラオケ（後半）

14：45 全体合唱：手のひらを太陽に、ふるさと

15：00 閉会の辞

経過

記念写真撮影の後、吉岡副会長がパワーポイントで、新たに「合唱クラブ」「私の健康法」がサークル活動に加わったことや、福井いきいき会のホームページの内容が日を追って充実し、アクセス回数も大幅に伸びたこと、演芸クラブの活動盛んなこと、鯖江市募集の狂歌に濱田氏が最優秀賞を受賞したこと、運営委員の一部に変更があったこと、エコライフプラザの老朽化による会場立ち退き問題で転居先を検討するも諸条件を満たす会場が見つからなかったことなど、前年度の行事を簡単に振り返って第六回新年会に移った。

新年会では昨年を引き続き井上、澤村両氏司会のもと、大野実行委員長の開会宣言、村上碩子氏による「謹賀新年」の祝賀揮毫、橋本小夜子氏による謡「羽衣」の吟詠、福井会長の新年の挨拶と続いた。会長は参加者に謝意を述べるとともに、猛威を振るうインフルエンザでやむを得ず参加できない会員の無念さを推し量る挨拶をされた。

サークル活動の実績披露では、手づくりの会が作品を会場内に展示したほか、芸能クラブも活動の一部を写真で展示した。演技披露では、合唱クラブ、ダンス同好会、芸能クラブの三つのサークルが披露。合唱クラブは揃いのハッピー姿で浜千鳥、冬の夜、草津節の3曲を、ダンス同好会は飛び入り歓迎でトロットとジルバーを各2曲、芸能クラブは、当初出し物を明らかにせず「乞うご期待」とだけ宣伝していたが、八木節によるドジョウ掬いを見事に披露した。

予定通りの進行で12:20分に、インフルエンザで欠席のやむなきに至った濱田相談役に代わって、竹内顧問の音頭で乾杯、会食・歓談に移った。会場担当の運営委員の世話もあって、また、飲み物も十分にあって、会員同士がお酒、ビールを注ぎ合う場面も多くみられた。

宴会の余興第一部では、林豊二氏による詩吟：祝賀の詞：の朗詠。94歳とは思えぬ素晴らしい朗詠に満場の喝采を浴びた。次いで道浦登貴子氏が日本舞踊「春雨」と「深川しぐれ」を披露した。氏は杵屋弥登悠の別名を持つ邦楽のプロで、2017年には県文化奨励賞を受賞している。その踊りは優雅そのもので満場を魅了した。

続くカラオケタイム（前半）では

- | | |
|------------------------|-------------------|
| ① 雨のタンゴ 山田富士子 | ② 夜霧よ今夜も有難う 向川佐多雄 |
| ③ 人生勝負 増永雅子 | ④ 二輪草 辻昌雄、山口由紀子 |
| ⑤ 二人の大阪 大野勉、橋詰しげ子 | |
| ⑥ 恋の季節 折尾敏和、古市千津子、長谷川瑛 | |

この後約10分の休憩を取り、宴会の余興第二部：特技披露（後半）に入った。

先ず道場岳富氏による尺八、「風雪流れ旅」と「いい日旅立ち」の2曲に聞き入った。氏の尺八経歴は40年以上に及ぶ堂々としたもので、当会芸能クラブの各地での公演では演劇に先立つお馴染みのものとなっていて、常に観客を沸かせている。次いで上坂征夫氏による「花朝澱江を下る」、竹内貫氏による詩吟「事に感ず」の二つの詩吟の披露があった。いずれも観客を魅了する堂々とした朗詠だった。カラオケタイムの（後半）は

- | | |
|---------------|--------------|
| ① すずらんの道 増永一夫 | ② 弥太郎鴉 新田ヨシエ |
| ③ よりそい蜚 宮川高子 | ④ 男の背中 天田治宏 |
| ⑤ 19の春 渡辺千津子 | |

どの出演者もさすが喉に自慢を持つ人ばかりで、熱唱を繰り広げた。

最後に全員で‘手のひらを太陽に’‘ふるさと’を合唱したあと、当会顧問の寺岡氏による閉会の辞があつて予定通り、井上、澤村両氏のもの慣れした軽快な進行もあつて、まさしく予定通りの時間に大盛況のうちに閉会となった。

途中女性群だけによる大合唱があり、負けてなるかと男性群だけによる合唱が飛び出したことや、司会者の裁量による参加者へのインタビュー等が加わったこと、また、役員が役割分担を献身的に果たしたことなどが成功につながったようだ。何よりも終了後多数の参加者が口ぐせに「楽しかった」と言っていたことが大成功を裏付けていると思う。

以上 大野 勉 記